

野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第12期(決算日2021年6月18日)

作成対象期間(2020年6月19日～2021年6月18日)

第12期末(2021年6月18日)	
基準価額	23,063円
純資産総額	6,661百万円
第12期	
騰落率	23.6%
分配金(税込み)合計	1,200円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国(新興国を含みます。)のヘルスケア関連企業の株式(DR(預託証書)を含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時

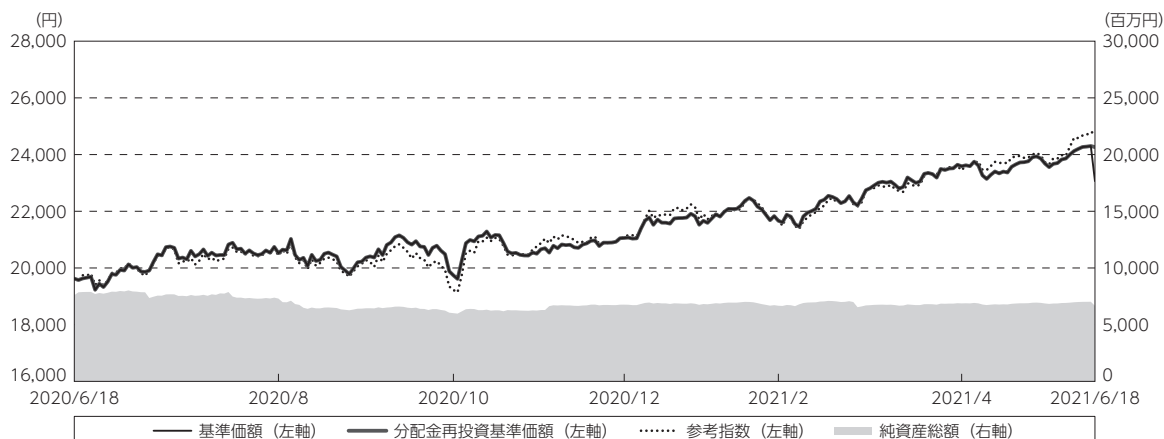


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2020年6月19日～2021年6月18日)



期首：19,625円

期末：23,063円 (既払分配金(税込み)：1,200円)

騰落率：23.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年6月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース)です。詳細は4ページをご参照ください。参考指数は、作成期首(2020年6月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,625円から期末23,063円(分配後)となりました。

- (上 昇) 新型コロナウイルスのワクチン開発期待が根強い環境下、好調な2020年4～6月期企業決算を発表したヘルスケア企業を中心に株価が堅調に推移したこと
- (下 落) 米大手製薬企業2社が新型コロナウイルスワクチンの開発中断を発表したこと、欧州を中心に新型コロナウイルス感染の再拡大懸念が強まったこと、為替市場でドル安(円高)となったこと
- (上 昇) 米国の上下両院議会選挙において共和党が上院で過半数を維持する見通しとなり、民主党が掲げる規制強化への懸念が和らいだこと、新型コロナウイルス向けワクチン開発の進展報道が相次いだこと、為替市場でドル高(円安)となったこと
- (下 落) これまで上昇をけん引してきた成長株などが下落する環境下でヘルスケア・テクノロジー株が下落したこと、コロナ禍で医薬品会社の主力薬の販売が期待外れとなったこと

(上 昇) 2021年1 - 3月期企業決算発表で、ヘルスケア機器・用品やライフサイエンス・ツール/サービスなどのセクターで好決算が相次いだこと、バイオジェン社が開発してきた認知症治療薬がFDA (米食品医薬品局) の承認を得たことで、バイオテクノロジー企業の株価が総じて上昇したこと

1万口当たりの費用明細

(2020年6月19日~2021年6月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 445	% 2.090	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(241)	(1.133)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(188)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(16)	(0.077)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	8	0.035	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 ※ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(8)	(0.035)	
(c) 有価証券取引税	4	0.017	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 ※ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(4)	(0.017)	
(d) その他費用	10	0.045	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(8)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(1)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	467	2.187	
期中の平均基準価額は、21,314円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

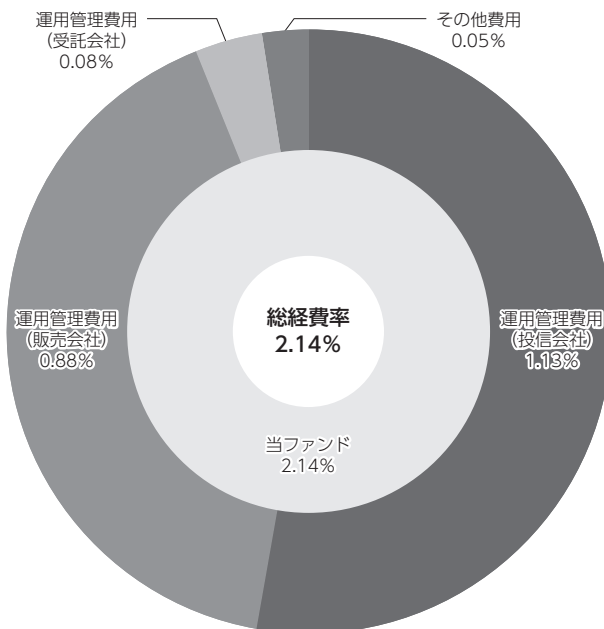
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

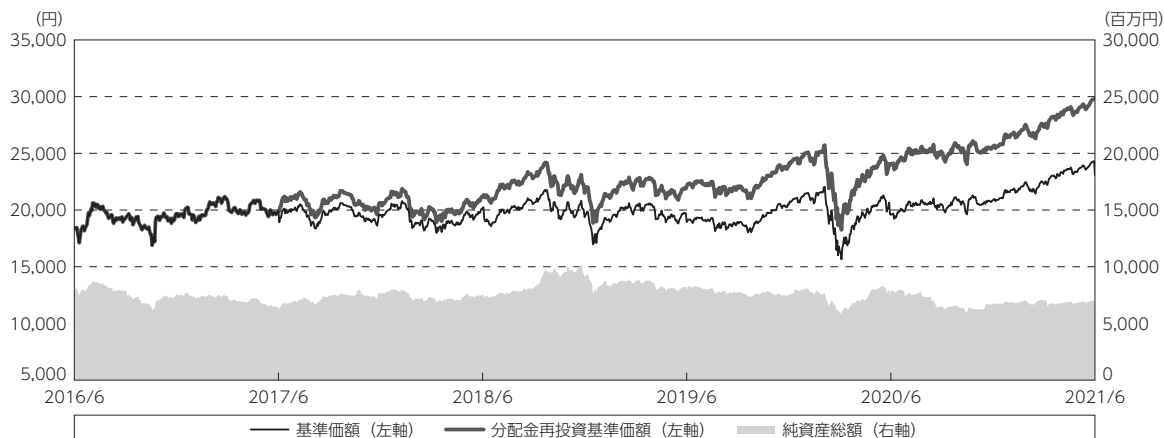
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年6月20日～2021年6月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年6月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年6月20日 決算日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月18日 決算日	2020年6月18日 決算日	2021年6月18日 決算日
基準価額 (円)	18,414	18,917	19,215	18,937	19,625	23,063
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,000	1,050	950	1,000	1,200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.2	7.1	3.5	8.9	23.6
参考指数騰落率 (%)	—	—	—	4.9	14.4	26.1
純資産総額 (百万円)	7,758	6,143	7,153	7,877	7,602	6,661

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、2018年6月1日付で、参考指数(=MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース))を設けております。

* 参考指数(=MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース))は、MSCI世界ヘルスケア株指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場値で円換算しております。

* MSCI世界ヘルスケア株指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

投資環境

(2020年6月19日～2021年6月18日)

世界株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン開発期待を背景に、期首より上昇基調の推移となりました。その後、米国大統領選挙でバイデン氏が当選し、下院議会でも民主党が過半数を占めたことで、一時は規制強化懸念から下落する場面も見られました。しかし、最終的に上院議会は共和党が過半数を維持する見通しとなったことや、新型コロナウイルス向けワクチン開発の進展報道が相次いだこと、ヘルスケア企業の業績も市場予想を上回るものが増えたことなどを好感し反発しました。

為替市場では、期首106円台後半で始まったドル円レートは、米国のゼロ金利政策が長期化するとの見方や、新型コロナウイルスが欧米を中心に再拡大したことなどを背景に年末・年始にかけドル安（円高）基調となり、一時103円を割り込みました。しかし、その後バイデン米新政権による大型の追加経済対策への期待から米長期金利が上昇したことや、発表された経済統計が市場予想を上回る強さを示したことなどからドルは反発に転じました。3月に入り、1.9兆ドル規模の「米国救済計画」の成立や米国での新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりからドルは一段高となり、4月には111円台近くまで上昇（円安）しました。その後は4月CPI（消費者物価指数）の上昇率が市場予想を上回ったものの、FRB（米連邦準備制度理事会）関係者からはインフレ懸念を打ち消す発言が相次いだこともあり、一時107円台までドル安（円高）となりました。しかし、6月半ばに開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）を受け早期利上げ観測が強まったことから、期末のドル円レートは110円台となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2020年6月19日～2021年6月18日)

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 株式への投資にあたっては、世界各国のヘルスケア関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を、各分野の専門的な観点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から、割高となった銘柄を売却し、割安な銘柄を購入するなど、銘柄の入れ替えも適宜実施しました。
- (3) 世界的な健康への関心の高まりから投資収益を得るべく、より健康な生き方（ライフスタイル）に資する製品やサービスを提供する企業への投資比率を引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

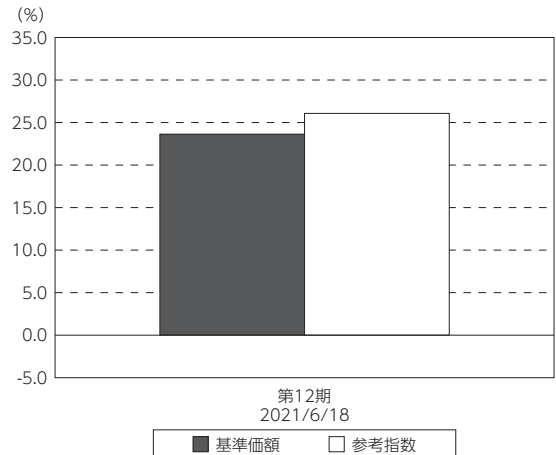
(2020年6月19日～2021年6月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース)の26.1%の上昇に対し、基準価額は23.6%の上昇となりました。主なマイナスの差異要因としては、米国や英国の消費財メーカーといった「その他・ウェルネス銘柄」の組み入れなどが影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 参考指数は、MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース)です。

分配金

(2020年6月19日～2021年6月18日)

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,200円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第12期	
	2020年6月19日～2021年6月18日	
当期分配金	1,200	
(対基準価額比率)	4.946%	
当期の収益	1,200	
当期の収益以外	-	
翌期繰越分配対象額	13,063	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境>

「ヘルスケア」という投資テーマは、世界的な高齢化の進展という人口動態の変化を背景に中長期的な成長を取り込める投資対象と考えています。高齢化社会においては、健康寿命を延ばすことが医療費などのヘルスケア関連コストの増加を抑えるために重要となってきます。医学研究における科学的な革新や進歩により、標準的な治療方法はより良く、効率的になっていますが、ヘルスケア関連コストはヘルスケア・システムの非効率性などを背景に急速に増加しています。最新のテクノロジーによりこのような状況は改善する可能性があり、より良い治療とより高い効率性を両立できる企業はヘルスケア市場で安定的な地位を築くことができると考えます。

さらに経済が成長し豊かになることで、人々は健康に注目するとみられます。ライフスタイルの変化に対してより健康的に過ごすためにパーソナルケアやホームケアに投資することで、消費者は自身を健康にすることができます。実際に、健康の維持は極めてコスト効率性の高い戦略であり、各国政府は指針を示したり、一部の健康を損なう製品には税金など金銭的な阻害要因を設けることで健康に資する行動を推奨しています。そのため人々の健康に資する製品を提供している企業は、長期的な健康への注目の高まりという潮流から恩恵を受けるものと考えます。

足元では、新型コロナウイルス向けのワクチン接種が世界各国で開始されていることがプラス要因となっていますが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の動向については、引き続きヘルスケア関連株式の株価に大きな影響を与える可能性があり、注視していく方針です。一部の企業では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていますが、ヘルスケア企業が提供する製品については必要不可欠なものも多く、業績が景気動向に左右されにくい特性があると考えます。また、今後は米国で薬価を含むヘルスケア制度全般の改革の動きなども注目していく考えです。

<運用方針>

当ファンドの投資戦略は、人々がより長く、より健康に生きるという世界的な課題を達成するような新しい方法を見つけだし、世界中の人々をより健康にするような企業に注目します。ヘルスケアにおいて標準的な治療を著しく改善するような革新的な企業や、ヘルスケア全般をより効率的にしたり、患者への治療の最適化を図ることで、患者が大きな負担なく適切な治療を受けられることを可能にする企業などを選好します。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お知らせ

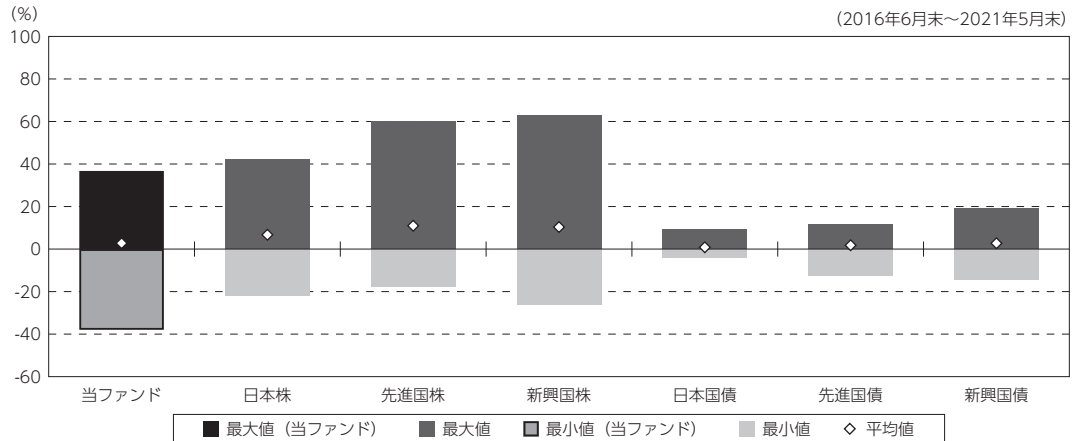
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年6月24日から2024年6月18日までです。
運用方針	世界各国（新興国を含みます。）のヘルスケア関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、世界のヘルスケア関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を各分野の専門的な観点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。また、バリュエーション、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。なお、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書および償還金額等が株式の価格や株価指数に連動する効果を有するリンク債等に投資をする場合があります。
運用方法	世界各国（新興国を含みます。）のヘルスケア関連企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.7	42.1	59.8	62.7	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 38.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.0	△ 4.0	△ 12.3	△ 14.5
平均値	2.8	6.7	11.0	10.3	0.8	1.8	2.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年6月から2021年5月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

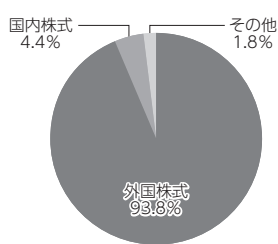
組入資産の内容

(2021年6月18日現在)

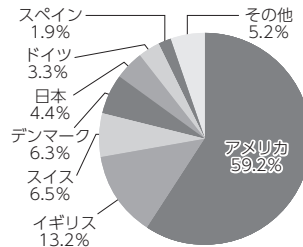
○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	米ドル	アメリカ	5.5
2	ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	医薬品	スイスフラン	スイス	4.5
3	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	ライフサイエンス・ツール/サービス	米ドル	アメリカ	4.3
4	ABBOTT LABORATORIES	ヘルスケア機器・用品	米ドル	アメリカ	4.2
5	UNILEVER PLC	パーソナル用品	ユーロ	イギリス	3.7
6	ELI LILLY & CO.	医薬品	米ドル	アメリカ	3.6
7	BOSTON SCIENTIFIC CORP	ヘルスケア機器・用品	米ドル	アメリカ	3.5
8	ASTRAZENECA PLC	医薬品	英ポンド	イギリス	3.1
9	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	家庭用品	英ポンド	イギリス	3.0
10	QUEST DIAGNOSTICS INC	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	米ドル	アメリカ	2.8
	組入銘柄数		45銘柄		

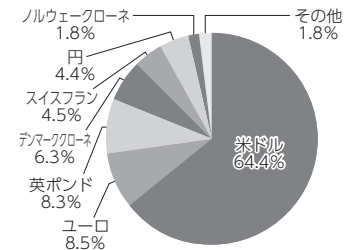
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%と異なる場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第12期末
	2021年6月18日
純資産総額	6,661,181,515円
受益権総口数	2,888,234,689口
1万円当たり基準価額	23,063円

(注) 期中における追加設定元本額は752,383,494円、同解約元本額は1,738,256,417円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)